

運動会に行く

50 数年ぶりに小学校の運動会に行った。名古屋市立堀田小学校である。高層住宅に囲まれた校庭で盛大に行われた。それほど日差しも強くなく、運動会「日和」であった。この日は多くの学校で運動会が行われていた。生徒の家族らも多く参加し、地域ぐるみの行事のようであった。学校に初めて行ったが、場違いな感じがしなかった。

1 学年 1 クラスの学年も多く、学年ペアや父兄参加の種目が並び、真剣な競技に退屈しなかった。運動会に行ったのは、京ちゃんが学校でどのように同級生と接しているか、先生や看護師さんらの活動について知りたかったからだ。映像や写真では見ていたが、学校に来て、京ちゃんがクラスの仲間にとけ込んでいるのがよく分かった。普通学級とともに、普通に学ぶ京ちゃんを見て、「インクルーシブ教育」の意味をあらためて考えさせられた。

写真上は京ちゃん家族の力走ぶりである。周りの父兄たちも熱い視線を投げかけていた。中は応援合戦で活躍する京ちゃんである。応援合戦は練習を重ねたようで、なかなか見ごたえがあった。京ちゃんは「赤組応援団長」として、重要な役割を果たしていた。京ちゃんに応援団長の感想を聞いてみたい。

写真下は、赤い大玉を順に回していく競技で、多くの父兄らも参加して、会場は大いに沸いた。京ちゃん父のあたりで、赤い玉が跳ね上がり、京ちゃんの傘に当たった。もうすこしで京ちゃんを直撃するところであった。偶然にも、その瞬間をカメラに収めていた。京ちゃん父だけでなく、多くの人が心配そうに見ているのが分かる。この写真を送ったら、京ちゃん母からすぐナイスショットとお褒めの言葉をもらい嬉しかった。じつに豪華で美味しいお弁当をいただき、後半戦の最初に失礼した。グラウンドを歩き回って、すこし疲れたが気分良く学校をあとにした。三重大学教育学部で学ぶ学生たちも見学に来ていたので、京ちゃんとクラスの仲間、学校のことなど、感想を聞いてみたいものだ。



(2015年5月28日)